



学校、家庭、そして地域の方々と一緒に・・・

めぐり

～宇和津小学校地域だより～

宇和島市立宇和津小学校

2024年7月19日 発行

令和6年度第4号

文責：地域学校協働活動推進員



幼稚園と小学校の交流学習

園児と3年生と一緒に七夕飾りを作りました。願い事が書かれた短冊もたくさん！また、小学校校舎も各学年の七夕飾りでとても華やかになりました。今年の七夕は晴天でしたね。みんなの願い事が叶いますように！

毎年7月になると、立派な笹を地域のボランティアの方が山から切り出して用意して下さいます。本当にありがとうございます。

6年生ふるさと平和学習 地域に学ぶ「宇和島空襲や戦時中の暮らし」

「平和を守って！戦争を絶対にしないで！」

空襲で焼けたところを塗り潰す



ワークショップでは、空襲のあった日付ごとに焼かれた場所を色鉛筆で塗り潰していきました。旧市内の大部分が塗られてしまいました。和霊神社も焼けました。和霊公園には宇和島空襲の犠牲者を追悼する平和記念碑があります。

ここ宇和島での出来事を経験者から聞き、戦争を身近に感じることができました。

何回も空襲があったなんて。すごく怖かっただろうな。



校区にお住いの黒田さん、金田さん、国村さん（宇和島空襲を記録する会）が、戦時中の体験談とともに平和への思いを伝えて下さいました。「生き残った私たちにできることは伝えること。」毎年、宇和津小学校に来て下さっています。

体験された宇和島空襲の恐怖や悲惨な様子を聞いたり、竹やり訓練の実演をしたりしました。また、当時の千人針や軍服等の貴重な品々を見せていただきました。

もっと力強く！戦時中では、竹やりを体育で習ったのよ。



東京大空襲や戦時中の暮らしについての講話



本物の配給切符だ！どのようにして利用するのかな。



読み聞かせて長年お世話になっている地域の方に、東京大空襲や戦時中の暮らしについて、貴重な資料とともに教えていただきました。

お母様から聞いた東京大空襲の経験談や、残された配給切符を紹介して下さいました。

食料や衣料が不足して、品物が無く、結局、切符を使えずここに残っています。



【裏面あり】

俳句の広場

地域の俳句先生こと未由子さんが、俳句を詠んでくださいます。毎月、児童玄関に掲示しています。今年度も引き続き、未由子さんの季節の俳句を楽しみにしています。よろしくお願ひします。

船出のごと馬陸を運ぶ蟻の列

待ち合わせ中、ふと見ると蟻の列がありました。

せっせっせと馬陸を運んでいます。

壮絶な生き物の世界です。

馬陸は、為す術もありません。

蟻は力を合わせ旗を立てて行進しているかのようぞ。

この様子を船出と表現しました。

未由子

児童玄関の掲示板にある「俳句の広場」には、児童の俳句作品が紹介されています。子どもらしい一句に和まされたり、大人っぽい感性に驚かされたりしています。来校された際には、是非、御覧ください。

- 一年 みずあそびかにさんたいかいぼくのかち
- 二年 すいどうをピカピカしたよ夏のそら
- 三年 かぞくで見たカニがだっぴしていたよ
- 四年 梅雨の星一人ささやくまどごしに
- 五年 水泳でかき続ける手あと少し
- 六年 昼ご飯みんなで取り合い晴れの夏